

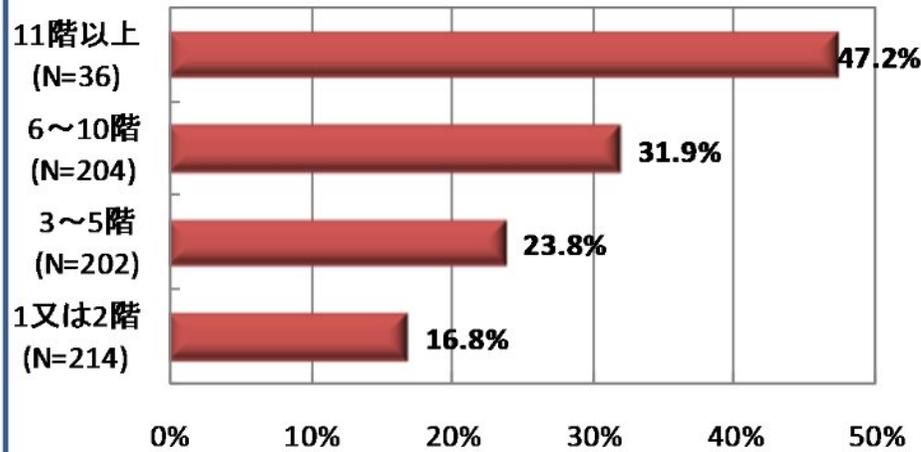
平成23年度 長周期地震動等に対する高層階の 室内安全対策専門委員会

専門委員会の構成

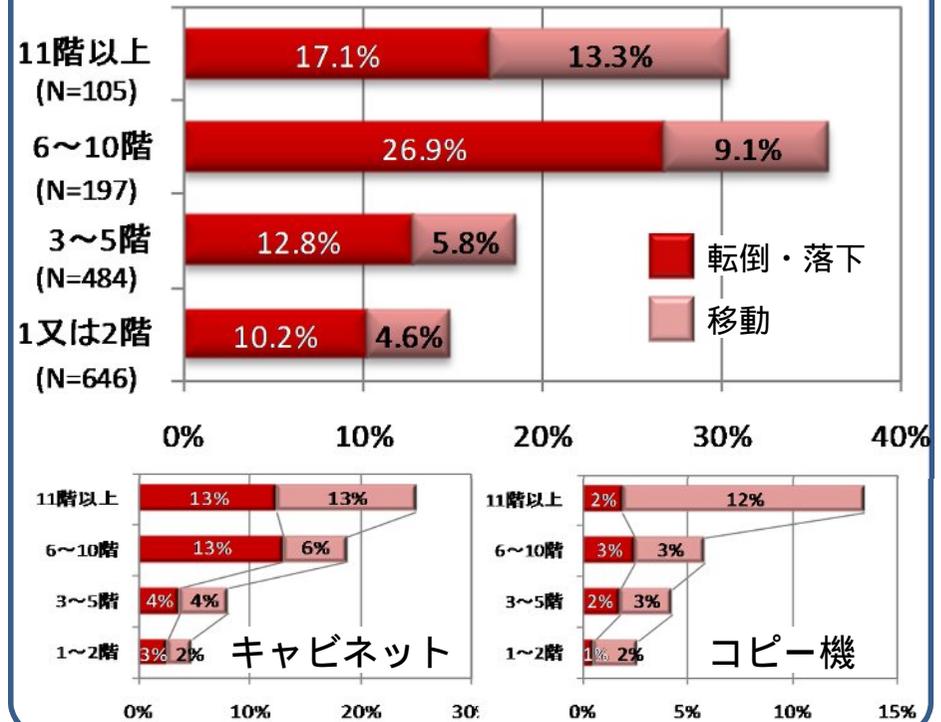
委員長	東京消防庁防災部長
副委員長	東京消防庁防災安全参事
委員	東京消防庁 消防技術課長、広報課長、防火管理課長、 震災対策課長、防災部副参事
学識経験者	翠川三郎（東京工業大学教授） 纈纈一起（東京大学地震研究所教授） 金子美香（清水建設技術研究所次世代耐震構造グループ長）
オブザーバー	東京都総務局総合防災部 （社）日本オフィス家具協会 （社）ビジネス機器・情報システム産業協会 （社）日本不動産協会

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震での高層ビルの被害 家具類の転倒・落下・移動の発生【階層別】

【一般世帯】



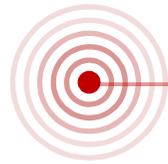
【事業所】



高層階になるほど、転倒・落下・移動の発生割合が高くなる傾向

長周期地震動によるものと考えられる





長周期地震動等に対する高層階の室内安全対策

東日本大震災の教訓を踏まえ、地震発生時の人命安全対策の観点から、長周期地震動等における高層階での地震対策について次の事項を検討した。

1

長周期地震動で生じ得る室内危険を知る

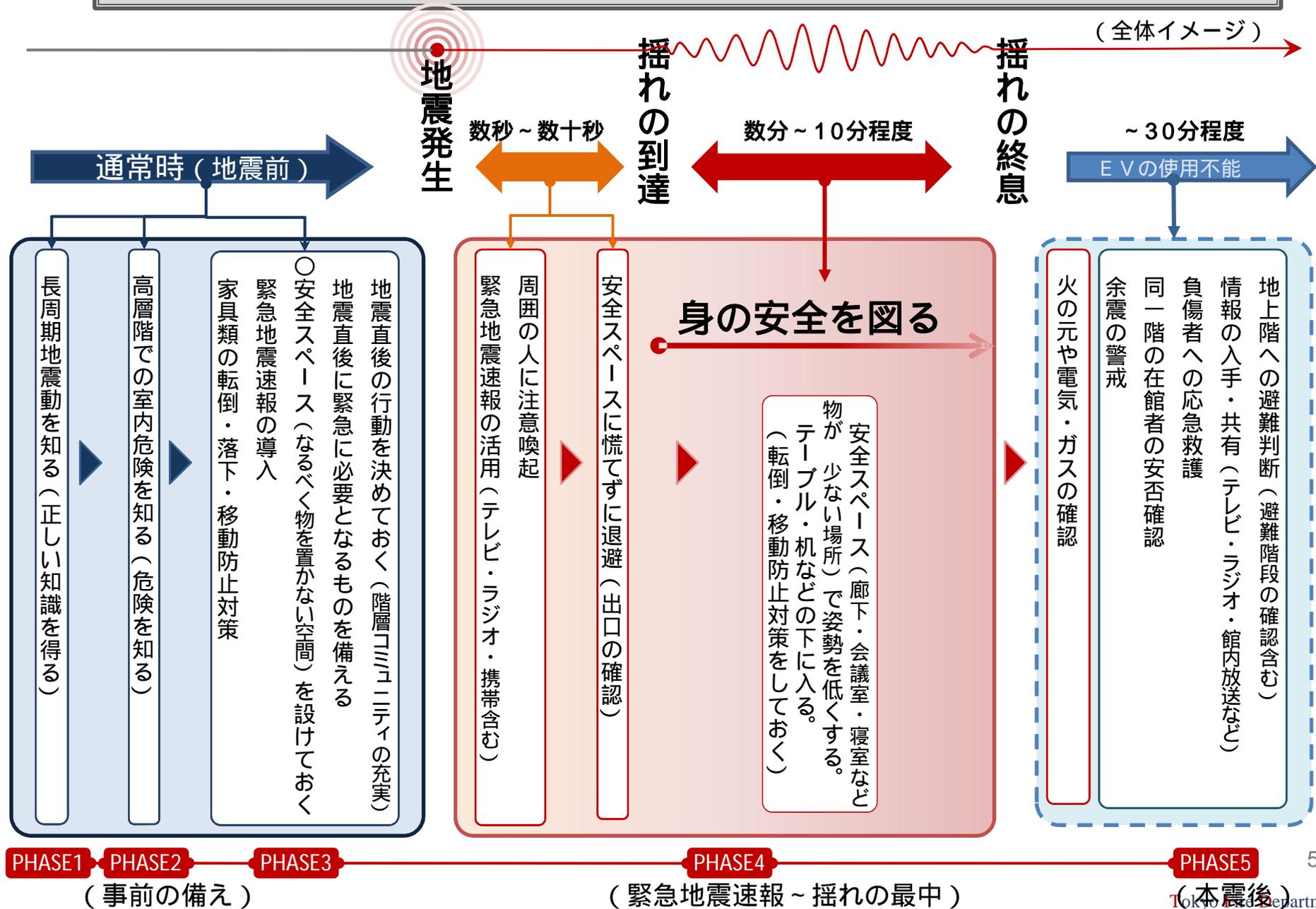
2

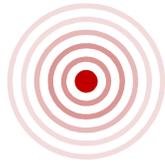
家具類の転倒・落下・移動防止対策など事前の備え

3

高層階における地震時の身の安全の図り方等

長周期地震動等による高層階での室内安全対策



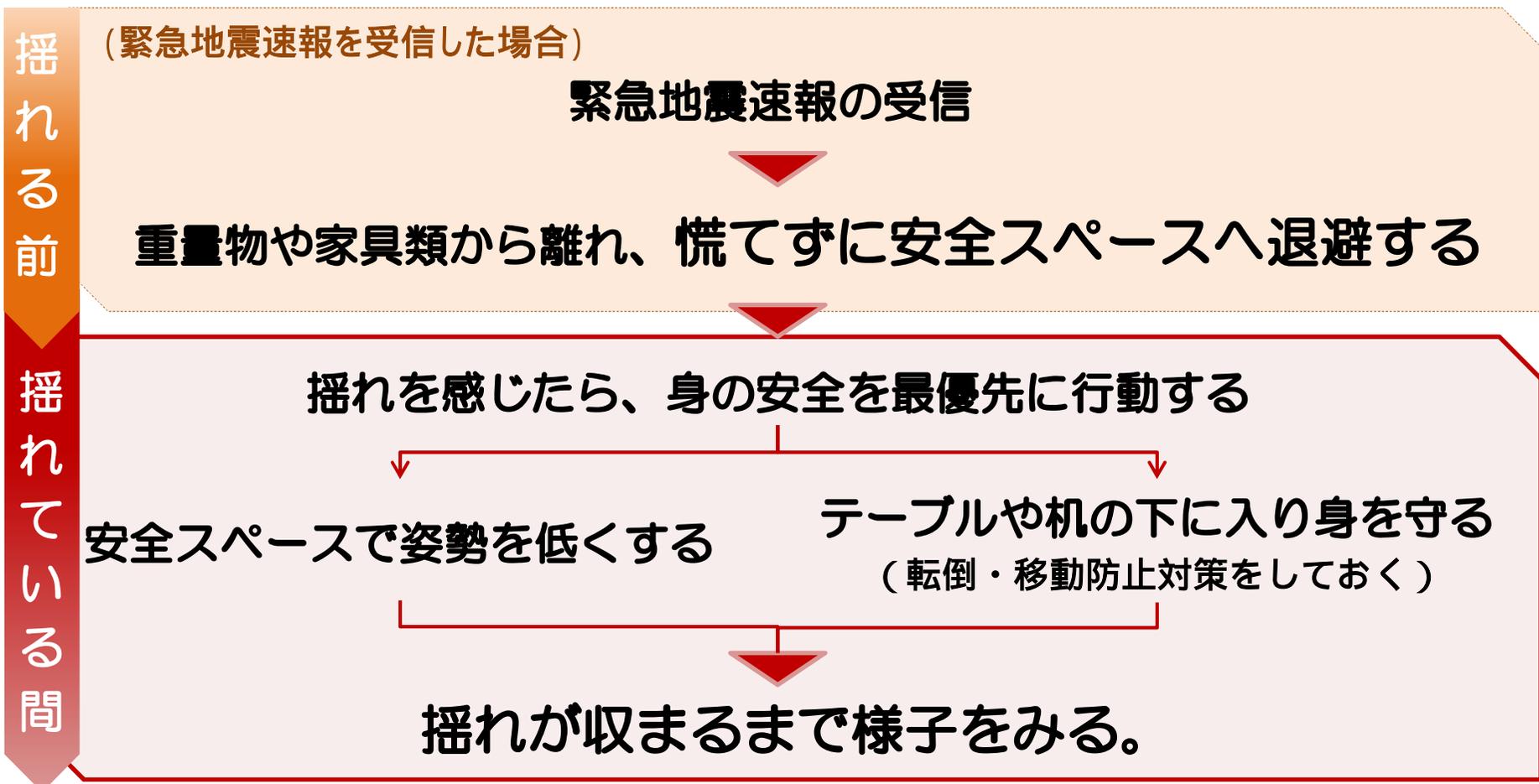


PHASE_4

『地震時の身の安全の図り方』

地震だ！ まず身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する



揺れる前 (緊急地震速報を受信した場合)

重量物や家具類から離れ、慌てずに安全スペースへ退避する

